

### 八ヶ岳南麓の住まい

House at the south foot of mt. Yatsugatake

山梨県北杜市高根町東井出 1340-6

竹内建築総合研究所

Takeuchi Design Office of Architecture

施工：山坂建築

建築主：-

主要用途：店舗併用住宅(パン工房)

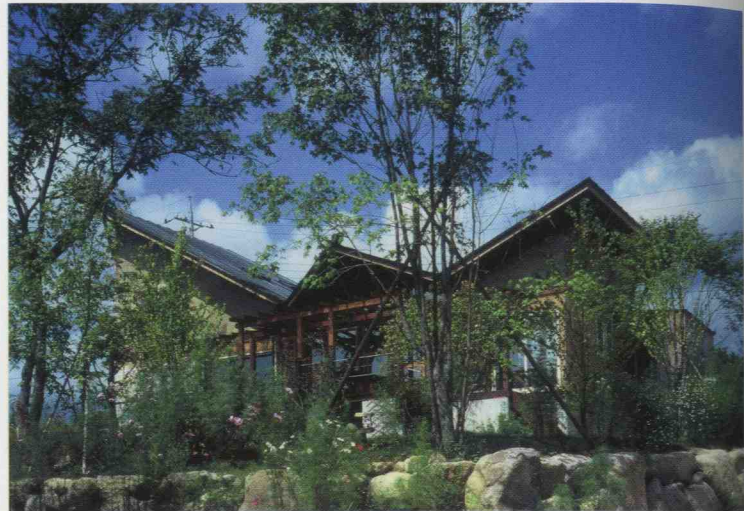
敷地面積：680.58㎡

建築面積：99.28㎡

延床面積：118.67㎡

構造・規模：地上2階・木造(在来工法)

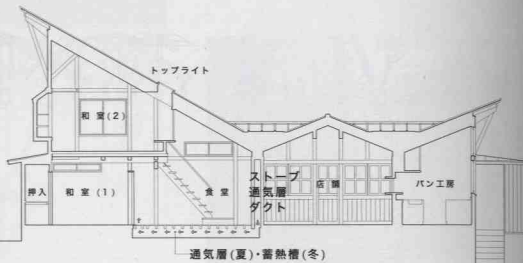
竣工：2000年



南外観



居間



断面図

撮影：新建築写真部

#### ここがポイント!

- 居間のストーブ廃熱利用
- 床下換気口の冬夏モード変換
- 居間・中央テラスは現代版土間
- 郷土の樹によるピオトープ
- ツル性植物による日照調整

#### 見どころ

山の尾根のような3つの屋根は、住まい、店舗と居間、パン工房のスペースを分断している。この工房でつくられるパンは自然素材が使用されているそうだが、この建物も地場の木材を多用し、外壁から内装に至るまで自然素材が使われている。

周囲の植栽は、都会からはうらやましいほどだが、さらに、郷土種を使ったピオトープの創

#### もっと知りたい人のために

掲載 / 新建築住宅特集 (00.12)、すまいの暮らし(00.11)、高原に住む(リクルート、01、真夏号)など 問合せ / 竹内建築総合研究所 / T.045-904-5304 / F.045-904-5333 / www.takeuchi-arch.co.jp / ttake@takeuchi-arch.co.jp

出や夏の日射遮蔽に効果的な植栽などが施されている。

省エネ対策も店舗ならではの試みがされている。床下換気口の開閉を利用した冬・夏モードの変換をすることで、夏は涼風、冬は、居間のパンを焼くストーブの廃熱がダクトを通し、ファンで送られ、住まいの暖房として使用される。(MN)

### 山梨のCD小屋

The CD Hut of Music Critic

山梨県山梨市牧丘町

Makioka-cho, Yamanashi, Yamanashi

一級建築士事務所 井口直巳建築設計事務所

Noomi Iguchi Architects Associates

施工：松下建設

建築主：-

主要用途：音楽評論家の仕事のための小屋

敷地面積：503㎡

建築面積：74㎡

延床面積：106㎡

構造・規模：木造2階

竣工：1995年



古電柱が外表に



外観



化学物質を極力排除した内装



軸組構造図

A...古電柱・大 (約8m)  
B...古電柱・中 (約6m)  
C...古電柱・小 (約3m)

古電柱の音楽室

#### ここがポイント!

- 発注単位の全量を使い切る設計
- ローコストで長寿命な環境建築
- 有機化合物の類らない高耐久性
- 人の五感に即した環境の音楽室
- 土をいじらず、設備は最小限に

#### 見どころ

音楽評論家の仕事場として建てられた。3万枚のCDと楽譜、書籍などの資料を効率よく収納しなければならない。その収納棚を音響の調整にも利用している。

この建物で注目すべきは、古い電柱を構造材に使用し、地元の職人の技を生かすよう仕口の多い設計とした点だ。建設中に極力廃材を出さないよう、建材は、梱包単位の量をす

#### もっと知りたい人のために

受賞 / 第1回JIA環境建築賞(00) 問合せ / 井口直巳建築設計事務所 / T.03-5411-7512 / F.03-5411-1822 / www.niaa.jp / info@niaa.jp

べて使い切る設計としている。内装に至っては、漆喰の壁とコルクの床材などの自然素材を使用し、吸放湿性と音響への効果を狙った。

大がかりなシステムはなく、シンプルではあるが、材料の使い切り量の試算など、その裏に隠された設計者の環境配慮への苦労が見受けられる。(YH)

- 長寿命化
- 地域・社会
- 断熱・気密
- 日射調整
- 躯体蓄熱
- 換気・通風
- 健康・安全
- 太陽エネルギー利用
- 風・水・地中熱利用
- 省・クリーン
- 高効率機器
- 3R・省資源
- 緑・生態系
- 木材
- 運用・管理